

## 平成 29 年度異動について

### 〔 改革に取り組むための人材配置 〕

#### ○ 「働き方改革・ダイバーシティ」をさらに加速

番組制作経験豊富で管理能力に優れる女性管理職をダイバーシティ推進主幹として人事局に配置。

#### ○ 地域の放送・サービスのいっそうの充実

中田裕之理事の下に「地域改革プロジェクト」を設置。秘書室に専従の事務局長を配置し、地域の特色を生かしながら、地域の活性化にも資する業務体制の構築をめざす。

#### ○ グループ経営の取り組み

次代の経営人材候補となる管理職を計画的に関連団体に出向させ、グループ経営の推進および経営人材の育成・拡大を図る。

- ・ 9 社に出向（28 年度 7 社＋29 年度 2 社）

### 〔 女性の処遇と登用 〕

本部局長 4 名（前年度 4 名）

放送局長 6 名（前年度 8 名）

女性管理職昇進数 42 名（前年度 42 名）

女性管理職比率 8.0%（前年度 7.3%）

(参考)

## ○ 本部長・放送局長人事（新部長のみ）

※下線は女性局長

※29年6月9付発令

(\*は既発令)

### 【本 部】

(旧所属・職位)

・ 監査委員会事務局長	<u>大 西 春 菜</u> (視総・情報公開センター長) *
・ 内部監査室長	渥 美 哲 (放総・首都圏放送センター長) *
・ リスク管理室長	平 賀 和 幸 (内部監査室専任局長)
・ 経営企画局長	松 坂 千 尋 (広報局長) *
・ 秘書室長	等々力 健 (監査委員会事務局長) *
・ 総務局長	森 本 清 文 (人事局専任局長)
・ 人事局長	谷 弘 聡 史 (総務局長)
・ メディア企画室長	阿 部 浩 二 (オンデマンド業務室長)
・ アナウンス室長	<u>泉 谷 八千代</u> (松山放送局長)
・ 編成局長	小野木 昌 史 (編成・編成センター長) *
・ オンデマンド業務室長	佐々木 元 (放送総局付 (NEP 出向))
・ 放総・大型企画開発センター長	梅 岡 宏 (放総・大型企画開発センターEP) *
・ 放総・ラジオセンター長	道 脇 清 文 (リスク管理室長)
・ 制作局長	佐 藤 高 彰 (放総・大型企画開発センター長) *
・ 報道局長	小 池 英 夫 (報道・編集主幹) *
・ 放送技術局長	嶋 田 豊 秋 (放送技術局専任局長)
・ 国際放送局長	今 村 啓 一 (ヨーロッパ総局長)
・ 放総・首都圏放送センター長	<u>桑 代 百合子</u> (放総・首都圏放送センター専任部長) *
・ 広報局長	正 籬 聡 (報道局長) *
・ 視総・情報公開センター長	野 田 剛 一 (国際・総務部長) *

## 【放送局長】

(関東甲信越地方)

- ・新潟放送局長 矢野達史 (報道・社会番組部長)
- ・甲府放送局長 辻村和人 (報道・おはよう日本部EP) \*
- ・前橋放送局長 井口治彦 (国際・多言語メディア部長)
- ・千葉放送局長 川島和孝 (経理局専任局長)

(近畿地方)

- ・神戸放送局長 林理恵 (国際・国際企画部長)
- ・大津放送局長 丘信行 (報道・スポーツ番組部長)

(東海・北陸地方)

- ・静岡放送局長 伊藤浩 (編成・計画管理部長)

(中国地方)

- ・広島放送局長 姫野浩 (内部監査室長) \*

(九州・沖縄地方)

- ・北九州放送局長 大木潤 (視総・NHK情報公開・個人情報保護審議委員会事務局長)
- ・長崎放送局長 遠藤理史 (制作・ドラマ番組部長)
- ・沖縄放送局長 傍田賢治 (アメリカ総局長)

(東北地方)

- ・山形放送局長 藤本美和子 (福井放送局副局長) \*
- ・福島放送局長 鈴木仁 (新潟放送局長)
- ・青森放送局長 熊井秀哲 (放送技術局専任局長)

(北海道地方)

- ・札幌放送局長 若泉久朗 (制作局長) \*
- ・函館放送局長 佐々木建史 (視総・事業センター専任部長)
- ・旭川放送局長 星野豊 (大阪・編成部専任部長)
- ・釧路放送局長 山田健 (函館放送局長)
- ・北見放送局長 佐藤哲郎 (報道・映像制作部専任部長)
- ・室蘭放送局長 浅川玲 (情報システム局専任局長)

(四国地方)

- ・松山放送局長 岩間正之 (大阪放送局副局長)
- ・高知放送局長 北澤和彦 (大阪・報道部EP)
- ・高松放送局長 行成博巳 (関連事業局専任部長)